



令和 8 年 8 月 2 2 日
国土交通省関東地方整備局

TEC-FORCE アドバイザーとともに道路緊急復旧のための調査を実施

関東地方整備局は、千葉県・千葉市からの支援要請を受け、「令和 8 年 8 月千葉豪雨」で被災した県道生実本納（おゆみほんのう）線（旧千葉外房有料道路）における緊急復旧（道路啓開）を実施しており、8 月 2 3 日（日）に「TEC-FORCE アドバイザー」を現地に派遣します。

関東地方整備局では、「TEC-FORCE アドバイザー」を初めて派遣することになります。

（１）調査行程

令和 8 年 8 月 2 3 日（日） 1 0 時 0 0 分～

（２）調査の実施

・TEC-FORCE アドバイザー

東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科 教授 塚本 良道（つかもと よしみち）

・TEC-FORCE

関東地方整備局 首都国道事務所 事業対策官 谷村 豊（たにむら ゆたか） 外

（３）調査箇所：（詳細は別添のとおり）

県道 6 7 号 生実本納（おゆみほんのう）線（旧千葉外房有料道路）

※TEC-FORCE アドバイザーとは

災害時に技術的判断が求められる事案へ即応するため、あらかじめ委嘱された学識経験者等であり、被災地において専門的・技術的助言を行う専門家です。

※現地取材（現場同行）について

調査箇所が通行止め区間に位置していることから、安全確保の観点により、現地での取材対応はできませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
千葉県政記者会 千葉市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 広報広聴対策官 田中（たなか）

電話：0 4 8 - 6 0 0 - 1 3 0 4（直通） FAX：0 4 8 - 6 0 0 - 1 3 6 9

道路部 道路防災調整官 山本（やまもと）（現地調査について）

電話：0 4 8 - 6 0 0 - 1 3 4 5（直通）

統括防災グループ 災害対策マネジメント室長 田中（たなか）（アドバイザー制度について）

電話：0 4 8 - 6 0 0 - 1 3 1 0（直通）

■位置図



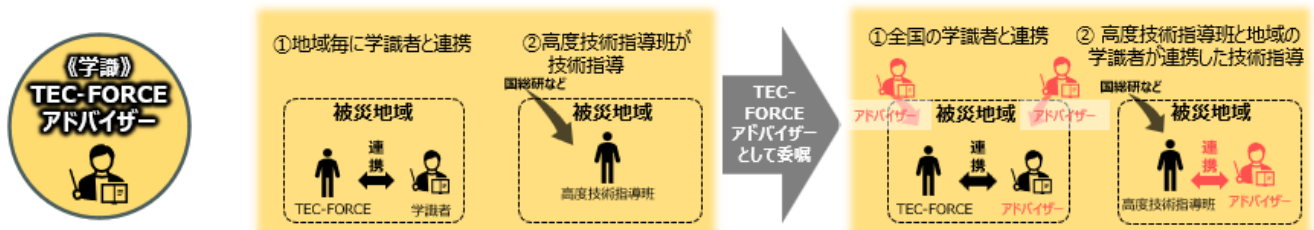
出典: 国土地理院地図を加工して使用

TEC-FORCEの体制強化の背景

- ◆TEC-FORCE は平成20年の発足以来、東日本大震災や西日本豪雨など様々な災害における現場対応を積み重ね、蓄積した知見を次なる災害対応に活かすことで着実に備えを充実してきました。
- ◆能登半島地震等の経験も踏まえ、気候変動により激甚化・頻発化する水災害や切迫する南海トラフ地震等の大規模広域災害に対応するためには、現在の災害対応力を格段に引き上げることが必要となります。
- ◆このため、国土交通省のもつ現場力・総合力を活かした支援の強化に向け、令和7年度より、TEC-FORCEの増強と行政機関・民間企業・学識者などの多様な主体との連携の更なる強化による新たな支援体制の構築を進めています。

TEC-FORCEアドバイザー

- 大規模広域災害の発生時には被災箇所が膨大となるなか、後発災害に備えるための災害応急対策や早期復旧に向けた技術的助言のニーズが高まることが想定され、これらのニーズに迅速に応えるためには、多くの学識者の協力が不可欠。
- このため、被災地で学識者から速やかに技術的助言をいただく新たな枠組み「TEC-FORCEアドバイザー制度」を創設し、事前に委嘱することで技術的判断が難しい事案に即応する体制を確保。
- また、地域の学識経験者との連携の強化により、大規模広域災害時のみならず災害時のTEC-FORCE高度技術指導班による活動がより円滑かつ効果的になることも期待される。



【九州地整】TEC-FORCEアドバイザーによる霧島山噴火調査(R7.7)

- 6月22日の火山噴火以降、活発な火山活動が継続している霧島山（新燃岳）において、TEC-FORCEアドバイザー（鹿児島大学・地頭苗名誉教授、宮崎大学・清水教授）によるヘリ調査及び現地調査を実施（7月15日～16日）
- 新燃岳の南向き斜面や中岳との間の鞍部斜面の植生限界より上部に、新たな火山灰の堆積が認められ、それらの斜面には比較的新しいリル・ガリー侵食が発達し、土砂流出が発生したものと推定
- アドバイザーから、既設堰堤の緊急除石などにつき助言があり、これを受けて鹿児島県が災害関連緊急砂防事業を実施予定



■ TEC-FORCEアドバイザーからの助言（主なもの）

- ・細かい火山灰が堆積し浸透能が低下することで、表面流の増加により斜面の侵食が進み、霧島川への土砂流出が発生したものと推察
- ・今後も、土砂流出が継続する可能性があり、砂防堰堤の除石等により備える必要あり
- ・火山活動がいつまで継続するか不明のため、今後とも火山灰の堆積、土砂流出の監視が必要

